

ELECOM

ファイル同期ツール

データコピー for Windows



User's Manual

ユーザーズマニュアル



第1版

2022/9/1

もくじ

用語	3
このマニュアルで使われている記号	3
本ツールの免責事項について	3
本製品の概要	4
動作要件	5
対応OS	5
対応機種	5
データコピーする	6
データコピー結果を確認する	10

このマニュアルで使われている記号

記号	意味
	作業上および操作上で特に注意していただきたいことを説明しています。この注意事項を守らないと、故障の原因になることがあります。注意してください。
	説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。

本ツールの免責事項について

免責事項

次のような場合は、弊社は保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

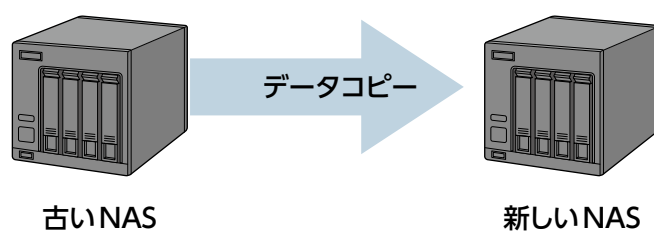
- ・ 弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障
- ・ 本製品をお使いになって生じたデータの消失、または破損
- ・ 本製品をお使いになって生じたいかなる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

本製品の概要

データコピー for Windows (以下、データコピー)は、古いNAS のデータを新しいELECOM製NASにコピーするためのアプリです。

※データコピーは、インストール不要です。そのまま実行できます。

■ 古いNASから新しいNASへのコピー



■ さまざまなコピーに対応

スケジュール実行	データコピーを実行する時刻を指定し、NASへのアクセスのない時間帯などに実行することができます。
差分コピー	データコピーを実行中にデータの変更があった場合などに、変更のあったファイルのみコピーを実行します。データコピーにかかる時間を短縮できます。
ACLコピー	通常のファイルコピーではACL情報は必ずしもコピーされず、コピーしたユーザーの権限で自動的に設定されてしまいます。ACLコピーを実行すると、古いNASでおこなっていたアクセス制御をそのまま移行できます。

対応 OS

Windows Storage Server 2022

対応機種

- NSB-72D シリーズ
- NSB-74D シリーズ
- NSB-74R シリーズ

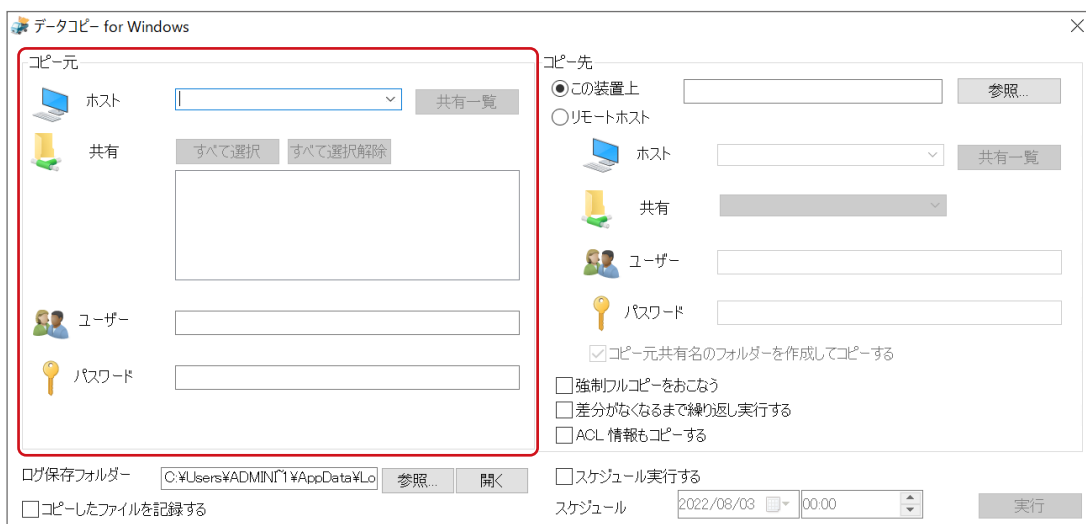
データコピーする

重要

- コピー先には、コピー元のファイルをコピーするため十分な空き容量が必要です。
- コピー元とコピー先に同名のファイル・フォルダーが存在する場合、コピー元のファイル・フォルダーで上書きされます。コピー先のみ存在するファイル・フォルダーは削除されません。
- コピー元やコピー先のフォルダーやファイルを開いている場合は閉じてください。また、コピー元やコピー先の共有フォルダーに対してネットワークドライブの割り当てをしている場合には切断してください。
- コピー元のユーザーにはコピーするすべてのファイルにアクセス可能なユーザーを指定してください。
- データコピーを実行する時刻をスケジュール設定する場合、他のスケジュールと重複しないようにしてください。
- ACL 情報をコピーする場合、データコピー実行前に新しいNASをドメインに参加させてください。

1 コピー先のNASで、ダウンロードしたファイル「DataCopyTool.exe」を実行します。

2 コピー元を設定します。



項目	内容		
ホスト	対象機器のホスト名を指定します。(IP アドレスでも設定可能) プルダウンメニューにて、ネットワーク上に存在するホストを一覧表示します。 <table border="1"><tr><td>共有一覧</td><td>ホストを直接入力した場合に、ホスト上の共有を一覧表示します。</td></tr></table>	共有一覧	ホストを直接入力した場合に、ホスト上の共有を一覧表示します。
共有一覧	ホストを直接入力した場合に、ホスト上の共有を一覧表示します。		
共有	対象機器上の共有を指定します。 指定したホスト上の共有を一覧表示し、データ移行の対象とする共有を選択します。 「すべて選択」、「すべて選択解除」は、リストに表示された共有に対して操作できます。 ※ 共有フォルダーとして使用できないフォルダーは表示されません。 ※ ホストがWindows 以外の場合、隠し共有は表示されません。表示するにはホストを操作し、隠し共有設定を解除してください。		
ユーザー	対象の共有にアクセス可能なユーザー名を入力します。 コピー元に NSB-72D/74D/74R 以外の ELECOM 製 NAS を指定する場合、「admin」と入力してください。		
パスワード	ユーザー名に対応するパスワードを入力します。		

3 コピー先を設定します。

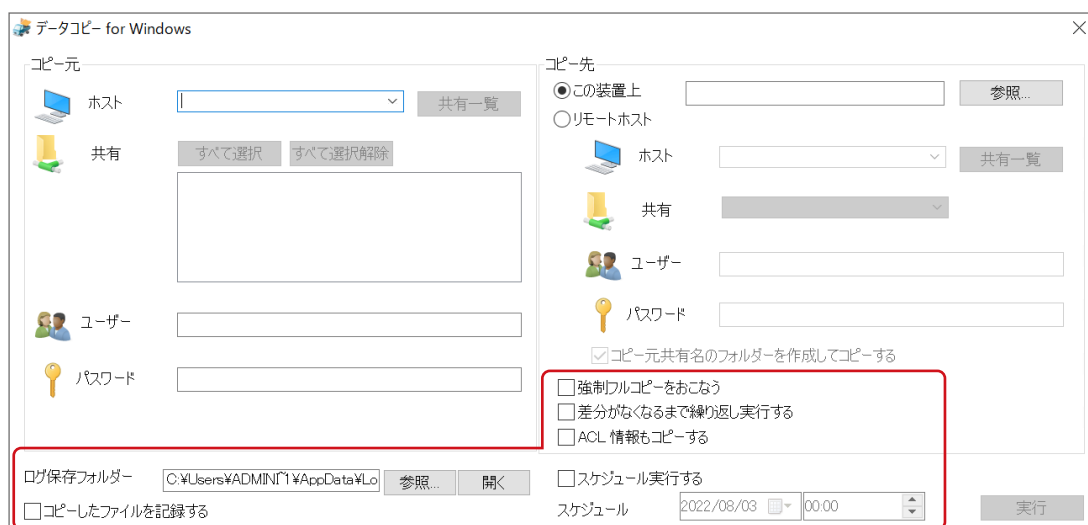
The screenshot shows the 'データコピー for Windows' dialog box. The 'コピー先' (Copy to) section is highlighted with a red box. It contains the following elements:

- この装置上** (This device): Selected with a radio button. Includes a text input field and a '参照...' (Browse...) button.
- リモートホスト** (Remote host): Unselected with a radio button.
- ホスト** (Host): A dropdown menu and a '共有一覧' (View shares) button.
- 共有** (Share): A dropdown menu.
- ユーザー** (User): A text input field.
- パスワード** (Password): A text input field.
- コピー元共有名のフォルダーを作成してコピーする** (Create a folder with the same name as the source share to copy).
- 強制フルコピーをおこなう** (Force full copy).
- 差分がなくなるまで繰り返し実行する** (Repeat until differences disappear).
- ACL 情報もコピーする** (Copy ACL information).
- スケジュール実行する** (Run scheduled task).
- スケジュール** (Schedule): 2022/08/03 00:00.
- 実行** (Execute) button.

At the bottom of the dialog, there are fields for 'ログ保存フォルダー' (Log save folder) with the path 'C:\Users\ADMINI~1\AppData\Lo...', a '参照...' (Browse...) button, an '開く' (Open) button, and a checkbox for 'コピーしたファイルを記録する' (Record copied files).

項目	内容	
この装置上	コピー先に本機内のフォルダーを指定する場合に選択します。 「参照」をクリックして、コピー先のフォルダーを選択してください。	
リモートホスト	ネットワーク上の他のホストにコピーする場合に選択します。	
	ホスト	対象機器のホスト名を指定します。(IP アドレスでも設定可能) プルダウンメニューにて、ネットワーク上に存在するホストを一覧表示します。 「共有一覧」をクリックすると、ホストを直接入力した場合に、ホスト上の共有を一覧表示します。
	共有	対象機器上のコピー先共有を指定します。
	ユーザー	対象の共有にアクセス可能なユーザー名を入力します。
	パスワード	ユーザー名に対応するパスワードを入力します。
コピー元共有名のフォルダーを作成してコピーする	コピー先フォルダーにコピー元共有と同じ名前のフォルダーを作成する場合にチェックをつけます。コピー元共有を 1 個選んだ場合のみ無効にできます。 (2 個以上選んだ場合は有効になります。)	

4 その他の設定をします。



項目	内容
ログ保存フォルダー	データコピーの結果などの情報を保存する場所を指定します。
コピーしたファイルを記録する	チェックをつけると、コピーに成功したファイルについてもログに記録します。コピーしたファイル数によってはログサイズが大きくなるため、ご注意ください。
強制フルコピーをおこなう	チェックをつけない場合は、差分コピーとなります。通常はチェックをつけずにご利用ください。 チェックをつけると、コピー先にデータが存在しても強制的にすべてのファイルを上書きコピーします。
差分がなくなるまで繰り返し実行する	チェックをつけると、すべてのファイルが差分なし状態になるまでコピー動作を繰り返します。「強制フルコピーをおこなう」が無効の場合のみ有効に設定できます。
ACL 情報をコピーする	チェックをつけると、コピー元の ACL 情報もコピーします。 ※ドメインアカウントと共通アカウント (Everyone 等) の ACL 情報がコピー対象になります。また、継承された ACL 情報はコピーされません。
スケジュール実行する	データコピーを実行する時刻を設定します。 ※設定した時刻が現在時刻より前の場合は、直ちに実行されます。

5 「実行」をクリックします。

コピー元を運用しながら、実行する場合

コピー元のNAS を運用しながらコピーする場合は、以下の設定にして実行します。

- 「強制フルコピーをおこなう」を「無効」にする
- 「差分がなくなるまで繰り返し実行する」にチェックをつける

コピー完了後の作業について

古いNASから新しいNASに切り替える場合、以下の手順にしたがってください。

- ① **古いNAS をネットワークから取り外す**
- ② **新しいNASの初期設定をする**
 - ※ NASの初期設定については、ユーザーズマニュアルをご覧ください。
- ③ **「データコピー for Windows」を削除する**
(切替完了後に、誤ってコピーを実行してしまうことを防ぐため)
 - ※ 「データコピー for Windows」はインストールしないため、そのまま削除できます。

データコピー結果を確認する

「ログ保存フォルダー」で設定したフォルダーに移行結果を記録します。

1回の実行につき以下の2つのファイルが記録されます。

ファイル名	内容
datacopy_(作成日時).log	データコピーの結果が記録されます。
datacopy_(作成日時)_summary.log	各処理ファイル数などの統計情報のみ記録されます。

■ datacopy_(作成日時).log の内容

項目	意味	
強制フルコピー	強制フルコピーの有効 / 無効を表示します。	
開始時刻	データコピーの開始時刻を表示します。	
移行先	移行先のパスを表示します。	
終了時刻	データコピーの終了時刻を表示します。	
処理時間	データコピーの処理時間を表示します。	
結果	完了 / エラー / 中止を表示します。	
移行元	移行元のパスを表示します。	
(結果)*	完了	コピーして正常終了しました。
	スキップ	既存データと差分がないためスキップしました。
	エラー (暗号化)	移行元ファイルデータが暗号化されているためコピーできません。
	エラー (ACL)	データのコピーはできましたが、ACL 情報のコピーに失敗しました。
	エラー (アクセス)	移行元フォルダーへのアクセス権がないためコピーできません。
	エラー	上記以外のエラー要因によりコピーできません。

※(結果)のうち、エラーのものは「コピーしたファイルを記録する」の設定にかかわらず記録されます。完了のものは設定が有効の場合のみ記録されます。

■ datacopy_(作成日時)_summary.log の内容

項目	意味
結果	完了 / エラー / 中止を表示します。
強制フルコピー	強制フルコピーの有効 / 無効を表示します。
開始時刻	データコピーの開始時刻を表示します。
終了時刻	データコピーの終了時刻を表示します。
処理時間	データコピーの処理時間を表示します。
移行元	移行元のパスを表示します。
移行先	移行先のパスを表示します。
コピーしたファイル数	コピーが成功したファイル数を表示します。
コピーをスキップしたファイル数	差分なしだったファイル数を表示します。
コピーに失敗したファイル数	コピーがエラーとなったファイル数を表示します。
総ファイル数	各ファイル数の合計を表示します。
処理したフォルダー数	処理をエラーなく行ったフォルダー数を表示します。
処理に失敗したフォルダー数	処理がエラーとなったフォルダー数を表示します。
総フォルダー数	各フォルダー数の合計を表示します。

● コピー中にコピー元のデータを削除した場合

コピー中にコピー元のファイルの移動や削除をおこなうと、コピーが失敗となる場合があります。

この場合、ファイルの移動や削除をおこなわないようにして、再実行してください。

ELECOM

ファイル同期ツール
データコピー for Windows

発行 エレコム株式会社

©ELECOM CO.,LTD. 2022 All Rights Reserved.